

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校 岡山情報ビジネス学院
設置者名	学校法人 三友学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	情報スペシャリスト学科	夜・通信	2,351 時間	240 時間	
	情報システム学科	夜・通信	1,667 時間	160 時間	
	デジタルビジネス学科 (データマーケティング学科)	夜・通信	655 時間	160 時間	
	ゲーム・VRクリエイター学科 ゲームクリエイターコース (ゲームクリエイター学科)	夜・通信	1,515 時間	240 時間	
	ゲーム・VRクリエイター学科 VRクリエイターコース (ゲームプログラマー学科)	夜・通信	1,255 時間	160 時間	
	ネット・動画クリエイター学科	夜・通信	1,514 時間	160 時間	
	CGデザイン学科 3DCGデザインコース	夜・通信	2,537 時間	240 時間	
	CGデザイン学科イラスト・デザインコース (CGデザイン学科)	夜・通信	1,455 時間	160 時間	

商業実務専門課程	経営アシスト学科	夜・通信	634 時間	160 時間	
	ホテル・ブライダル学科	夜・通信	1,025 時間	160 時間	
	公務員総合学科 (公務員学科)	夜・通信	0 時間	160 時間	※
	公務員速修学科	夜・通信	0 時間	80 時間	※
	医療福祉事務学科	夜・通信	1,178 時間	160 時間	
	医療情報マネジメント学科 (診療情報管理士学科)	夜・通信	1,585 時間	240 時間	
教育・社会福祉専門課程	保育学科	夜・通信	1,290 時間	240 時間	
<p>(備考)</p> <p>(1) 下記のコースについては、2020 年度生より募集停止。 保育学科 2 年制コース (2021 年度より在籍者はいない) 保育学科 2 年制コースの募集停止に伴い、保育学科 2 年制コースは名称を保育学科とする。</p> <p>(2) 下記学科については、2024 年度生より学科の再編成を行った。 ① ゲームクリエイター学科・ゲームプログラマー学科を統合しゲーム・VR クリエイター学科に名称変更する。加えて、3 年制のゲームクリエイターコースと 2 年制の VR クリエイターコースにコース分けする。 ② CG デザイン学科は 3 年制の 3DCG デザインコースと 2 年制のイラスト・デザインコースにコース分けする。</p>					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>Web 上にて公開 https://www.oic-ok.ac.jp/assets/document/about/info/e03--7.pdf</p>

3. 要件を満たすことが困難である学科

<p>学科名 公務員学科・公務員速修学科</p> <p>(困難である理由) 公務員総合学科(公務員学科)・公務員速修学科は、公務員試験の合格を目標とするカリキュラム構成となっている。そのため授業科目を教えていくに当たって、多くは公務員の実務経験を必要とするものとは性質上異なる。高校等の現場での授業経験のある者や他校での授業経験のある者等による授業を行なうことが目標を実現するに当たって効果的であると考えられる。よって実務経験を有する教員による授業科目を配置することは困難である。</p>

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校 岡山情報ビジネス学院
設置者名	学校法人 三友学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

Web 上にて公開 https://www.oic-ok.ac.jp/assets/document/about/info/e04--6.pdf
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	司法書士	令和5年7月 22日～令和8 年度定時評 議会終了時 まで	寄附行為の改定、理 事の任命、動産・不動 産の登記等に係る法 規手続き関連
非常勤	弁護士	令和4年7月 22日～令和8 年度定時評 議会終了時 まで	対企業、対学生、対保 護者、対教職員との コンプライアンス関 連
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	学校法人 三友学園
設置者名	専門学校 岡山情報ビジネス学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 本校の「授業計画書(シラバス)と成績評価基準のガイドラインについて」にそって、カリキュラム検討委員会の中で検討し、毎年1月から2月までに決定。 各学科の教育課程編成委員会等でカリキュラムについて意見が出た場合は、次年度より変更できるように対応。 全学科の教師が本校の共通フォーマットをもとにシラバスを作成し、年度開始時にHPで公開している。</p>	
授業計画書の公表方法	Web上にて公開 https://www.oic-ok.ac.jp/about/info/syllabus/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 本校の「授業計画書(シラバス)と成績評価基準のガイドラインについて」にそって、カリキュラム検討委員会の中で検討し、毎年1月から2月までに決定。 前期・後期に実施する2回の期末試験、单元ごとに行う確認テスト、出欠席等で適切に評価を行っている。期末試験の評価については、S 90点以上、A 80点以上、B 70点以上、C 60点以上、D 59点以下とし、C以上が合格とする。 また、出欠席については、科目毎に80%以上の出席を必要とする。提出物、授業態度を成績評価につける場合は、主観的にならないよう一律の評価基準を設けて評価を行っている。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	

<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校の「授業計画書(シラバス)と成績評価基準のガイドラインについて」にそって、カリキュラム検討委員会の中で検討し、毎年1月から2月までに決定。前期・後期に実施する2回の期末試験、單元ごとに行う確認テスト、出欠席等で適切に評価を行っている。期末試験の評価については、S 90点以上、A 80点以上、B 70点以上、C 60点以上、D 59点以下とし、C以上が合格とする。</p> <p>提出物、授業態度を成績評価につける場合は、主観的にならないよう一律の評価基準を設けて評価を行っている。</p> <p>また、出欠席については、科目毎に80%以上の出席を必要とする。</p> <p>S・A・B・C・Dの成績評価とともにGPAを算出し、各学科の下位1/4が明確になるように設定している。</p> <p>GPA算出計算式</p> $GPA = \frac{[4 \times S \text{ 修得単位数}] + [3 \times A \text{ 修得単位数}] + [2 \times B \text{ 修得単位数}] + [1 \times C \text{ 修得単位数}]}{\text{総履修単位数}[S \sim D \text{ を合算したもの}]}$	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>Web上にて公開</p> <p>授業計画書(シラバス)と成績評価基準のガイドラインについて</p> <p>https://www.oic-ok.ac.jp/assets/document/about/info/e03--6.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学則に沿って、卒業に必要な授業時間(授業単位)を策定し公表。</p> <p>本校のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを募集要項、ホームページにて公開している。</p> <p>また、「授業計画書(シラバス)と成績評価基準のガイドラインについて」および「学生の手引き」において「評価基準」、「期末試験受験資格」、「卒業条件」、「進級条件」等を公表。</p> <p>卒業・進級は、卒業認定委員会・進級認定委員会を経て決定され、適切に実施している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>Web上にて公開</p> <p>授業計画書(シラバス)と成績評価基準のガイドラインについて</p> <p>https://www.oic-ok.ac.jp/assets/document/about/info/e03--6.pdf</p> <p>3つのポリシー</p> <p>https://www.oic-ok.ac.jp/about/education/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 岡山情報ビジネス学院
設置者名	学校法人 三友学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	Web 上にて公開 https://www.oic-ok.ac.jp/assets/document/about/info/03--new.pdf
収支計算書又は損益計算書	Web 上にて公開 https://www.oic-ok.ac.jp/assets/document/about/info/03--new.pdf
財産目録	Web 上にて公開 https://www.oic-ok.ac.jp/assets/document/about/info/03--new.pdf
事業報告書	Web 上にて公開 https://www.oic-ok.ac.jp/assets/document/about/info/03--new.pdf
監事による監査報告（書）	Web 上にて公開 https://www.oic-ok.ac.jp/assets/document/about/info/03--new.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	情報スペシャリスト 学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2,550 単位時間/単位	1,052 単位時間 /単位	1,858 単位時間 /単位	70 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2,980 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
105人		103人	0人	3人	5人	8人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）本校の「授業計画書（シラバス）と成績評価基準のガイドラインについて」にそって、カリキュラム検討委員会の中で検討し、毎年1月から2月までに決定。各学科の教育課程編成委員会等でカリキュラムについて意見が出た場合は、次年度より変更できるように対応。全学科の教師が本校の共通フォーマットをもとにシラバスを作成し、年度開始時にHPで公開している。
成績評価の基準・方法
（概要） 前期・後期に実施する2回の期末試験、單元ごとに行う確認テスト、出欠席等で適切に評価を行っている。期末試験の評価については、S 90点以上、A 80点以上、B 70点以上、C 60点以上、D 59点以下とし、C以上が合格とする。 また、出欠席については、科目毎に80%以上の出席を必要とする。提出物、授業態度を成績評価につける場合は、主観的にならないよう一律の評価基準を設けて評価を行っている。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学則に沿って、卒業に必要な授業時間（授業単位）を策定し公表。 本校のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを募集要項、ホームページにて公開している。また、「授業計画書（シラバス）と成績評価基準のガイドラインについて」および「学生の手引き」において「評価基準」、「期末試験受験資格」、「卒業条件」、「進級条件」等を公表。卒業・進級は、卒業認定委員会・進級認定委員会を経て決定され、適切に実施している。
学修支援等
（概要） 常勤教員によるクラス担任制を導入し、学生の学業および就職・キャリア形成を支援している。また、放課後の補講や検定対策授業を通じて、学習や資格取得に向けた支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
46人 (100%)	0人 (0%)	45人 (97.8%)	1人 (2.2%)
（主な就職、業界等） 【業界】 IT業界 他 【就職先】 カワサキロボットサービス(株)、(株)CAC、(株)JTP、(株)NICS、(株)OEC、(株)SEC、(株)ゆこゆこ、(株)アネステック、(株)アネックスソフト、(株)アルク、(株)ウィズワン、(株)タイレルシステムズ、(株)ダイレクトウェイブ、(株)トスコ、(株)ナビオコンピュータ、(株)ピープルソフトウェア、(株)フィネット、(株)ブレインゲート、(株)プライム、(株)ユニバーサルコンピューター、(株)リゾーム、(株)三和電子、(株)両備システムズ、(株)吉備システム、(株)山崎製パン、(株)山陽計算センター、(株)岡山システムサービス、(株)日本テクノス、(株)旭情報サービス、(株)神戸デジタルラボ、(株)青山商事			
（就職指導内容） 担任教師とキャリアサポートのスタッフが連携し学生の進路選択のサポートを行う。併せて就職対策講座により教養・面接対策等を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等））			
基本情報技術者試験		合格者 27名	
応用情報技術者試験		合格者 1名	
情報処理技術者能力認定試験 2級		合格者 31名	
Javaプログラミング能力認定試験 2級		合格者 37名	
AI 検定		合格者 30名	
（令和6年度卒業生に関する情報）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
110人	6人	5.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別ガイダンスの実施や家庭との連携に加え、臨床心理士・公認心理師によるカウンセリング体制を整えている。また、別室にて授業を受けることができるメイトルームの利用も促進している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	情報システム学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,702 単位時間/単位	706 単位時間 /単位	1,573 単位時間 /単位	70 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2,349 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		92人	0人	3人	4人	7人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）本校の「授業計画書（シラバス）と成績評価基準のガイドラインについて」にそって、カリキュラム検討委員会の中で検討し、毎年1月から2月までに決定。各学科の教育課程編成委員会等でカリキュラムについて意見が出た場合は、次年度より変更できるように対応。全学科の教師が本校の共通フォーマットをもとにシラバスを作成し、年度開始時にHPで公開している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要） 前期・後期に実施する2回の期末試験、單元ごとに行う確認テスト、出欠席等で適切に評価を行っている。期末試験の評価については、S 90点以上、A 80点以上、B 70点以上、C 60点以上、D 59点以下とし、C以上が合格とする。 また、出欠席については、科目毎に80%以上の出席を必要とする。提出物、授業態度を成績評価につける場合は、主観的にならないよう一律の評価基準を設けて評価を行っている。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要） 学期に沿って、卒業に必要な授業時間（授業単位）を策定し公表。 本校のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを募集要項、ホームページにて公開している。また、「授業計画書（シラバス）と成績評価基準のガイドラインについて」および「学生の手引き」において「評価基準」、「期末試験受験資格」、「卒業条件」、「進級条件」等を公表。卒業・進級は、卒業認定委員会・進級認定委員会を経て決定され、適切に実施している。</p>
学修支援等
<p>（概要） 常勤教員によるクラス担任制を導入し、学生の学業および就職・キャリア形成を支援している。また、放課後の補講や検定対策授業を通じて、学習や資格取得に向けた支援を行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
49人 (100%)	0人 (0%)	48人 (98.0%)	1人 (2.0%)
（主な就職、業界等） 【業界】 IT業界 他 【就職先】 (株)日本テクノス、(株)システムエンタープライズ、(株)RELATION、(株)ウィルテック、(株)アテック、(株)テクノプロ テクノプロ・エンジニアリング社、東都システムズ(株)、スリープラス(株)、(株)リゾーム、(株)アウルホールディングス、(株)ビジネスコム、コベルコソフトサービス(株)、(株)アクシス、(株)ビーネックステクノロジーズ、(株)ユナイテッドサーブ、(株)カイトックホールディングス、(株)ソフィア、ユニバース情報システム(株)、エムアンドシーシステム(株)、(株)ジェイテック 他			
（就職指導内容） 担任教師とキャリアサポートのスタッフが連携し学生の進路選択のサポートを行う。併せて就職対策講座により教養・面接対策等を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 基本情報技術者試験 合格者 12名 応用情報技術者試験 合格者 1名 情報処理技術者能力認定試験 1級 合格者 5名 情報処理技術者能力認定試験 2級 合格者 16名 C言語プログラミング能力認定試験 2級 合格者 2名 Javaプログラミング能力認定試験 2級 合格者 17名 <div style="text-align: right;">（令和6年度卒業生に関する情報）</div>			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
101人	3人	3.0%
（中途退学の主な理由） 進路変更、精神不調		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別ガイダンスの実施や家庭との連携に加え、臨床心理士・公認心理師によるカウンセリング体制を整えている。また、別室にて授業を受けることができるメイトルームの利用も促進している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	デジタルビジネス学科 (データマーケター学科)	○	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,716 単位時間/単位	490 単位時間 /単位	1,376 単位時間 /単位	70 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
		1,936 単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	41人	0人	5人	2人	7人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要) 本校の「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」にそって、カリキュラム検討委員会の中で検討し、毎年1月から2月までに決定。各学科の教育課程編成委員会等でカリキュラムについて意見が出た場合は、次年度より変更できるように対応。全学科の教師が本校の共通フォーマットをもとにシラバスを作成し、年度開始時にHPで公開している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要) 前期・後期に実施する2回の期末試験、單元ごとに行う確認テスト、出欠席等で適切に評価を行っている。期末試験の評価については、S 90点以上、A 80点以上、B 70点以上、C 60点以上、D 59点以下とし、C以上が合格とする。 また、出欠席については、科目毎に80%以上の出席を必要とする。提出物、授業態度を成績評価につける場合は、主観的にならないよう一律の評価基準を設けて評価を行っている。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要) 学則に沿って、卒業に必要な授業時間 (授業単位) を策定し公表。 本校のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを募集要項、ホームページにて公開している。また、「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」および「学生の手引き」において「評価基準」、「期末試験受験資格」、「卒業条件」、「進級条件」等を公表。卒業・進級は、卒業認定委員会・進級認定委員会を経て決定され、適切に実施している。</p>
学修支援等
<p>(概要) 常勤教員によるクラス担任制を導入し、学生の学業および就職・キャリア形成を支援している。また、放課後の補講や検定対策授業を通じて、学習や資格取得に向けた支援を行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）																					
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他																		
16人 (100%)	0人 (%)	14人 (87.5%)	2人 (12.5%)																		
（主な就職、業界等） 【業界】 小売、サービス、製造など 【就職先】 吉備システム、シーピー化成、平林金属、大成ナグバス、アスパーク、フレスカ、双葉運輸、日本オフィスオートメーション、アールエムトラスト																					
（就職指導内容） 担任教師とキャリアサポートのスタッフが連携し学生の進路選択のサポートを行う。併せて就職対策講座により教養・面接対策等を行う。																					
（主な学修成果（資格・検定等）） <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">ITパスポート試験</td> <td>合格者 4名</td> </tr> <tr> <td>MOS Access 2016</td> <td>合格者 14名</td> </tr> <tr> <td>MOS Excel 2016</td> <td>合格者 16名</td> </tr> <tr> <td>MOS Excel 2016 Expert</td> <td>合格者 14名</td> </tr> <tr> <td>MOS PowerPoint 2016</td> <td>合格者 14名</td> </tr> <tr> <td>MOS Word 2016</td> <td>合格者 15名</td> </tr> <tr> <td>ビジネス統計スペシャリストベーシック</td> <td>合格者 10名</td> </tr> <tr> <td>日本商工会議所簿記検定3級</td> <td>合格者 3名</td> </tr> <tr> <td>実務技能検定協会秘書技能検定2級</td> <td>合格者 3名</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">（令和6年度卒業生に関する情報）</p>				ITパスポート試験	合格者 4名	MOS Access 2016	合格者 14名	MOS Excel 2016	合格者 16名	MOS Excel 2016 Expert	合格者 14名	MOS PowerPoint 2016	合格者 14名	MOS Word 2016	合格者 15名	ビジネス統計スペシャリストベーシック	合格者 10名	日本商工会議所簿記検定3級	合格者 3名	実務技能検定協会秘書技能検定2級	合格者 3名
ITパスポート試験	合格者 4名																				
MOS Access 2016	合格者 14名																				
MOS Excel 2016	合格者 16名																				
MOS Excel 2016 Expert	合格者 14名																				
MOS PowerPoint 2016	合格者 14名																				
MOS Word 2016	合格者 15名																				
ビジネス統計スペシャリストベーシック	合格者 10名																				
日本商工会議所簿記検定3級	合格者 3名																				
実務技能検定協会秘書技能検定2級	合格者 3名																				
（備考）（任意記載事項）																					

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
41人	3人	7.3%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別ガイダンスの実施や家庭との連携に加え、臨床心理士・公認心理師によるカウンセリング体制を整えている。また、別室にて授業を受けることができるメイトルームの利用も促進している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	ゲーム・VRクリエイター学科 ゲームクリエイターコース (ゲームクリエイター学科)	○	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2,510 単位時間/単位	835 単位時間 /単位	1,870 単位時間 /単位	80 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2,770 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	85人	1人	4人	6人	10人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 本校の「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」にそって、カリキュラム検討委員会の中で検討し、毎年1月から2月までに決定。各学科の教育課程編成委員会等でカリキュラムについて意見が出た場合は、次年度より変更できるように対応。全学科の教師が本校の共通フォーマットをもとにシラバスを作成し、年度開始時にHPで公開している。
成績評価の基準・方法
(概要) 前期・後期に実施する2回の期末試験、單元ごとに行う確認テスト、出欠席等で適切に評価を行っている。期末試験の評価については、S 90点以上、A 80点以上、B 70点以上、C 60点以上、D 59点以下とし、C以上が合格とする。 また、出欠席については、科目毎に80%以上の出席を必要とする。提出物、授業態度を成績評価につける場合は、主観的にならないよう一律の評価基準を設けて評価を行っている。
卒業・進級の認定基準
(概要) 学則に沿って、卒業に必要な授業時間 (授業単位) を策定し公表。 本校のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを募集要項、ホームページにて公開している。また、「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」および「学生の手引き」において「評価基準」、「期末試験受験資格」、「卒業条件」、「進級条件」等を公表。卒業・進級は、卒業認定委員会・進級認定委員会を経て決定され、適切に実施している。
学修支援等
(概要) 常勤教員によるクラス担任制を導入し、学生の学業および就職・キャリア形成を支援している。また、放課後の補講や検定対策授業を通じて、学習や資格取得に向けた支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
34人 (100%)	0人 (%)	30人 (88.2%)	4人 (11.8%)
（主な就職、業界等） 【業界】 ゲーム業界、IT 業界 【就職先】 (株)アティック、(株)ビジネスコム、(株)白獅子、常石造船(株)、(株)アウルホールディングス、(株)エスピーエス、(株)ホープクリエイイト、ディーピーティー(株) 他			
（就職指導内容） 担任教師とキャリアサポートのスタッフが連携し学生の進路選択のサポートを行う。併せて就職対策講座により教養・面接対策等を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） CG クリエイター検定 ベーシック 合格者 25 名 C 言語プログラミング能力認定試験 2 級 合格者 25 名 （令和 6 年度卒業生に関する情報）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
95 人	2 人	2.1%
（中途退学の主な理由） 精神不調、学力不振		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別ガイダンスの実施や家庭との連携に加え、臨床心理士・公認心理師によるカウンセリング体制を整えている。また、別室にて授業を受けることができるメイトルームの利用も促進している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	ゲーム・VRクリエイター学科 VRクリエイターコース (ゲームプログラマー学科)	○	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,705 単位時間／単位	570 単位時間 ／単位	1,360 単位時間 ／単位	70 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
		1,985 単位時間／単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
35人	18人	0人	5人	3人	8人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）本校の「授業計画書（シラバス）と成績評価基準のガイドラインについて」にそって、カリキュラム検討委員会の中で検討し、毎年1月から2月までに決定。各学科の教育課程編成委員会等でカリキュラムについて意見が出た場合は、次年度より変更できるように対応。全学科の教師が本校の共通フォーマットをもとにシラバスを作成し、年度開始時にHPで公開している。
成績評価の基準・方法
（概要） 前期・後期に実施する2回の期末試験、單元ごとに行う確認テスト、出欠席等で適切に評価を行っている。期末試験の評価については、S 90点以上、A 80点以上、B 70点以上、C 60点以上、D 59点以下とし、C以上が合格とする。 また、出欠席については、科目毎に80%以上の出席を必要とする。提出物、授業態度を成績評価につける場合は、主観的にならないよう一律の評価基準を設けて評価を行っている。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学則に沿って、卒業に必要な授業時間（授業単位）を策定し公表。 本校のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを募集要項、ホームページにて公開している。また、「授業計画書（シラバス）と成績評価基準のガイドラインについて」および「学生の手引き」において「評価基準」、「期末試験受験資格」、「卒業条件」、「進級条件」等を公表。卒業・進級は、卒業認定委員会・進級認定委員会を経て決定され、適切に実施している。
学修支援等
（概要） 常勤教員によるクラス担任制を導入し、学生の学業および就職・キャリア形成を支援している。また、放課後の補講や検定対策授業を通じて、学習や資格取得に向けた支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
-人 （ %）	-人 （ %）	-人 （ %）	-人 （ %）
（主な就職、業界等） 転科等により実績なし			
（就職指導内容） 担任教師とキャリアサポートのスタッフが連携し学生の進路選択のサポートを行う。併せて就職対策講座により教養・面接対策等を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
8人	1人	12.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別ガイダンスの実施や家庭との連携に加え、臨床心理士・公認心理師によるカウンセリング体制を整えている。また、別室にて授業を受けることができるメイトルームの利用も促進している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業		工業専門課程	ネット・動画クリエイター学科	○	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,781 単位時間/単位		337 単位時間/単位	1724 単位時間/単位	70 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
				2,131 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人		66人	0人	6人	3人	9人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）本校の「授業計画書（シラバス）と成績評価基準のガイドラインについて」にそって、カリキュラム検討委員会の中で検討し、毎年1月から2月までに決定。各学科の教育課程編成委員会等でカリキュラムについて意見が出た場合は、次年度より変更できるように対応。全学科の教師が本校の共通フォーマットをもとにシラバスを作成し、年度開始時にHPで公開している。
成績評価の基準・方法
（概要） 前期・後期に実施する2回の期末試験、單元ごとに行う確認テスト、出欠席等で適切に評価を行っている。期末試験の評価については、S 90点以上、A 80点以上、B 70点以上、C 60点以上、D 59点以下とし、C以上が合格とする。 また、出欠席については、科目毎に80%以上の出席を必要とする。提出物、授業態度を成績評価につける場合は、主観的にならないよう一律の評価基準を設けて評価を行っている。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学則に沿って、卒業に必要な授業時間（授業単位）を策定し公表。 本校のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを募集要項、ホームページにて公開している。また、「授業計画書（シラバス）と成績評価基準のガイドラインについて」および「学生の手引き」において「評価基準」、「期末試験受験資格」、「卒業条件」、「進級条件」等を公表。卒業・進級は、卒業認定委員会・進級認定委員会を経て決定され、適切に実施している。
学修支援等
（概要） 常勤教員によるクラス担任制を導入し、学生の学業および就職・キャリア形成を支援している。また、放課後の補講や検定対策授業を通じて、学習や資格取得に向けた支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
38人 (100%)	0人 (%)	34人 (89.5%)	4人 (10.5%)
（主な就職、業界等） 【業界】 Web 業界、デザイン業界、動画制作 【就職先】 株式会社システムタイズ、ハジメクリエイト、株式会社ワード、株式会社ルクス、株式会社フォーミュレーション I.T.S.、ライズプランニング			
（就職指導内容） 担任教師とキャリアサポートのスタッフが連携し学生の進路選択のサポートを行う。併せて就職対策講座により教養・面接対策等を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） Illustrator 検定 エキスパート 合格者 28 名 Illustrator 検定 スタンダード 合格者 33 名 Photoshop 検定 エキスパート 合格者 22 名 Photoshop 検定 スタンダード 合格者 23 名 文部科学省後援色彩検定 3 級 合格者 23 名 文部科学省後援色彩検定 2 級 合格者 5 名 文部科学省後援色彩検定 1 級 合格者 1 名 文部科学省後援色彩検定 UC 級 合格者 1 名 CG クリエイター検定 ベーシック 合格者 1 名 マルチメディア検定 ベーシック 合格者 18 名 Web クリエイター能力認定試験 スタンダード 合格者 34 名 Web クリエイター能力認定試験 エキスパート 合格者 32 名 （令和 6 年度卒業生に関する情報）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
74 人	1 人	1.4%
（中途退学の主な理由） 経済的理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別ガイダンスの実施や家庭との連携に加え、臨床心理士・公認心理師によるカウンセリング体制を整えている。また、別室にて授業を受けることができるメイトルームの利用も促進している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	CGデザイン学科 3DCGデザインコース	—	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2,757 単位時間/単位	402 単位時間 /単位	2,464 単位時間 /単位	80 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2,946 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	23人	0人	6人	4人	10人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）本校の「授業計画書（シラバス）と成績評価基準のガイドラインについて」にそって、カリキュラム検討委員会の中で検討し、毎年1月から2月までに決定。各学科の教育課程編成委員会等でカリキュラムについて意見が出た場合は、次年度より変更できるように対応。全学科の教師が本校の共通フォーマットをもとにシラバスを作成し、年度開始時にHPで公開している。
成績評価の基準・方法
（概要） 前期・後期に実施する2回の期末試験、單元ごとに行う確認テスト、出欠席等で適切に評価を行っている。期末試験の評価については、S 90点以上、A 80点以上、B 70点以上、C 60点以上、D 59点以下とし、C以上が合格とする。 また、出欠席については、科目毎に80%以上の出席を必要とする。提出物、授業態度を成績評価につける場合は、主観的にならないよう一律の評価基準を設けて評価を行っている。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学則に沿って、卒業に必要な授業時間（授業単位）を策定し公表。 本校のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを募集要項、ホームページにて公開している。また、「授業計画書（シラバス）と成績評価基準のガイドラインについて」および「学生の手引き」において「評価基準」、「期末試験受験資格」、「卒業条件」、「進級条件」等を公表。卒業・進級は、卒業認定委員会・進級認定委員会を経て決定され、適切に実施している。
学修支援等
（概要） 常勤教員によるクラス担任制を導入し、学生の学業および就職・キャリア形成を支援している。また、放課後の補講や検定対策授業を通じて、学習や資格取得に向けた支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
一人 （ %）	一人 （ %）	一人 （ %）	一人 （ %）
（主な就職、業界等） 2024年度生より学科の再編で新設コースのため、実績なし			
（就職指導内容） 担任教師とキャリアサポートのスタッフが連携し学生の進路選択のサポートを行う。 併せて就職対策講座により教養・面接対策等を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12人	1人	8.3%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別ガイダンスの実施や家庭との連携に加え、臨床心理士・公認心理師によるカウンセリング体制を整えている。また、別室にて授業を受けることができるメイトルームの利用も促進している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	CGデザイン学科 イラスト・デザインコース (CGデザイン学科)	○	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,730 単位時間／単位	360 単位時間 ／単位	1,470 単位時間 ／単位	80 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
		1,910 単位時間／単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	47人	0人	7人	5人	12人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）本校の「授業計画書（シラバス）と成績評価基準のガイドラインについて」にそって、カリキュラム検討委員会の中で検討し、毎年1月から2月までに決定。各学科の教育課程編成委員会等でカリキュラムについて意見が出た場合は、次年度より変更できるように対応。全学科の教師が本校の共通フォーマットをもとにシラバスを作成し、年度開始時にHPで公開している。
成績評価の基準・方法
（概要） 前期・後期に実施する2回の期末試験、單元ごとに行う確認テスト、出欠席等で適切に評価を行っている。期末試験の評価については、S 90点以上、A 80点以上、B 70点以上、C 60点以上、D 59点以下とし、C以上が合格とする。 また、出欠席については、科目毎に80%以上の出席を必要とする。提出物、授業態度を成績評価につける場合は、主観的にならないよう一律の評価基準を設けて評価を行っている。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学期に沿って、卒業に必要な授業時間（授業単位）を策定し公表。 本校のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを募集要項、ホームページにて公開している。また、「授業計画書（シラバス）と成績評価基準のガイドラインについて」および「学生の手引き」において「評価基準」、「期末試験受験資格」、「卒業条件」、「進級条件」等を公表。卒業・進級は、卒業認定委員会・進級認定委員会を経て決定され、適切に実施している。
学修支援等
（概要） 常勤教員によるクラス担任制を導入し、学生の学業および就職・キャリア形成を支援している。また、放課後の補講や検定対策授業を通じて、学習や資格取得に向けた支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17人 (100%)	0人 (%)	16人 (94.1%)	1人 (5.9%)
（主な就職、業界等） 【業界】 デザイン、広告、Web 【就職先】 友野印刷（株）、（株）コーセイカン、P・O・Pホールディングス（株）、 （株）内外プロセス、（株）iプランニング KOHWA、（株）ライズクリエイション （就職指導内容） 担任教師とキャリアサポートのスタッフが連携し学生の進路選択のサポートを行う。併 せて就職対策講座により教養・面接対策等を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） CGクリエイター検定 ベーシック 合格者 10名 Illustrator 検定 エキスパート 合格者 17名 Illustrator 検定 スタンダード 合格者 16名 Photoshop 検定 エキスパート 合格者 17名 Photoshop 検定 スタンダード 合格者 17名 文部科学省後援 色彩検定 2級 合格者 9名 （令和6年度卒業生に関する情報）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42人	1人	2.4%
（中途退学の主な理由） 意欲低下		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別ガイダンスの実施や家庭との連携に加え、臨床心理士・公認心理師によるカウ ンセリング体制を整えている。また、別室にて授業を受けることができるメイトルーム の利用も促進している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業		商業実務専門課程	経営アシスト学科	○	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,730 単位時間／単位	934 単位時間 ／単位	902 単位時間 ／単位	80 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			1,916 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		68人	1人	4人	6人	10人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）本校の「授業計画書（シラバス）と成績評価基準のガイドラインについて」にそって、カリキュラム検討委員会の中で検討し、毎年1月から2月までに決定。各学科の教育課程編成委員会等でカリキュラムについて意見が出た場合は、次年度より変更できるように対応。全学科の教師が本校の共通フォーマットをもとにシラバスを作成し、年度開始時にHPで公開している。
成績評価の基準・方法
（概要） 前期・後期に実施する2回の期末試験、單元ごとに行う確認テスト、出欠席等で適切に評価を行っている。期末試験の評価については、S 90点以上、A 80点以上、B 70点以上、C 60点以上、D 59点以下とし、C以上が合格とする。 また、出欠席については、科目毎に80%以上の出席を必要とする。提出物、授業態度を成績評価につける場合は、主観的にならないよう一律の評価基準を設けて評価を行っている。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学則に沿って、卒業に必要な授業時間（授業単位）を策定し公表。 本校のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを募集要項、ホームページにて公開している。また、「授業計画書（シラバス）と成績評価基準のガイドラインについて」および「学生の手引き」において「評価基準」、「期末試験受験資格」、「卒業条件」、「進級条件」等を公表。卒業・進級は、卒業認定委員会・進級認定委員会を経て決定され、適切に実施している。
学修支援等
（概要） 常勤教員によるクラス担任制を導入し、学生の学業および就職・キャリア形成を支援している。また、放課後の補講や検定対策授業を通じて、学習や資格取得に向けた支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）															
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他												
26人 (100%)	1人 (3.8%)	25人 (96.2%)	0人 (%)												
<p>【業界】 金融、製造、小売、商社、税理士業界など</p> <p>【就職先】 水島信用金庫、備後信用組合、株式会社エドウィン、JA 晴れの国岡山、岡山市農業協同組合、税理士法人鈴木税理士事務所、税理士法人富士税務会計、税理士法人吉井財務研究所、大澤和弘税理士事務所、株式会社イタミアート、大建工業株式会社 他</p> <p>（就職指導内容） 担任教師とキャリアサポートのスタッフが連携し学生の進路選択のサポートを行う。併せて就職対策講座により教養・面接対策等を行う。</p> <p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <table border="0"> <tr> <td>F P 技能検定 3 級</td> <td>合格者 24 名</td> </tr> <tr> <td>F P 技能検定 2 級</td> <td>合格者 5 名</td> </tr> <tr> <td>全国経理教育協会 税務検定所得税 2 級</td> <td>合格者 6 名</td> </tr> <tr> <td>国家試験 税理士試験 簿記論</td> <td>合格者 1 名</td> </tr> <tr> <td>日本商工会議所簿記検定 2 級</td> <td>合格者 10 名</td> </tr> <tr> <td>日本商工会議所簿記検定 3 級</td> <td>合格者 24 名</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">（令和 6 年度卒業生に関する情報）</p>				F P 技能検定 3 級	合格者 24 名	F P 技能検定 2 級	合格者 5 名	全国経理教育協会 税務検定所得税 2 級	合格者 6 名	国家試験 税理士試験 簿記論	合格者 1 名	日本商工会議所簿記検定 2 級	合格者 10 名	日本商工会議所簿記検定 3 級	合格者 24 名
F P 技能検定 3 級	合格者 24 名														
F P 技能検定 2 級	合格者 5 名														
全国経理教育協会 税務検定所得税 2 級	合格者 6 名														
国家試験 税理士試験 簿記論	合格者 1 名														
日本商工会議所簿記検定 2 級	合格者 10 名														
日本商工会議所簿記検定 3 級	合格者 24 名														
（備考）（任意記載事項）															

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
66 人	4 人	6.1%
<p>（中途退学の主な理由） 進路変更、精神不調、体調不良、除籍</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組） 個別ガイダンスの実施や家庭との連携に加え、臨床心理士・公認心理師によるカウンセリング体制を整えている。また、別室にて授業を受けることができるメイトルームの利用も促進している。</p>		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業	商業実務専門課程	ホテル・ブライダル学科	○	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,705 単位時間／単位	750 単位時間／単位	1,010 単位時間／単位	260 単位時間／単位	0 単位時間／単位	0 単位時間／単位
		2,020 単位時間／単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	64人	0人	4人	6人	10人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）本校の「授業計画書（シラバス）と成績評価基準のガイドラインについて」にそって、カリキュラム検討委員会の中で検討し、毎年1月から2月までに決定。各学科の教育課程編成委員会等でカリキュラムについて意見が出た場合は、次年度より変更できるように対応。全学科の教師が本校の共通フォーマットをもとにシラバスを作成し、年度開始時にHPで公開している。
成績評価の基準・方法
（概要） 前期・後期に実施する2回の期末試験、單元ごとに行う確認テスト、出欠席等で適切に評価を行っている。期末試験の評価については、S 90点以上、A 80点以上、B 70点以上、C 60点以上、D 59点以下とし、C以上が合格とする。 また、出欠席については、科目毎に80%以上の出席を必要とする。提出物、授業態度を成績評価につける場合は、主観的にならないよう一律の評価基準を設けて評価を行っている。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学則に沿って、卒業に必要な授業時間（授業単位）を策定し公表。 本校のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを募集要項、ホームページにて公開している。また、「授業計画書（シラバス）と成績評価基準のガイドラインについて」および「学生の手引き」において「評価基準」、「期末試験受験資格」、「卒業条件」、「進級条件」等を公表。卒業・進級は、卒業認定委員会・進級認定委員会を経て決定され、適切に実施している。
学修支援等
（概要） 常勤教員によるクラス担任制を導入し、学生の学業および就職・キャリア形成を支援している。また、放課後の補講や検定対策授業を通じて、学習や資格取得に向けた支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）																											
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他																								
38人 (100%)	0人 (%)	36人 (94.7%)	2人 (5.3%)																								
（主な就職、業界等） 【業界】 ホテル、ブライダル、ジュエリー 【就職先】 (株)ニュー・オータニ、ヒルトン広島、(株)エスクリ、(株)日本セレモニー、(株)トミヤコーポレーション																											
（就職指導内容） 担任教師とキャリアサポートのスタッフが連携し学生の進路選択のサポートを行う。併せて就職対策講座により教養・面接対策等を行う。																											
（主な学修成果（資格・検定等）） <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">WB J 認定ウエディングプランナー</td> <td style="width: 50%;">合格者 38 名</td> </tr> <tr> <td>WB J 認定ドレスコーディネーター</td> <td>合格者 38 名</td> </tr> <tr> <td>WB 認定スリースターメンバー</td> <td>合格者 38 名</td> </tr> <tr> <td>フォーラムメイクアップPBコース修了証</td> <td>合格者 38 名</td> </tr> <tr> <td>ブライダルコーディネート技能検定3級</td> <td>合格者 14 名</td> </tr> <tr> <td>ホテル実務技能認定試験初級</td> <td>合格者 32 名</td> </tr> <tr> <td>サービス接客実務検定2級</td> <td>合格者 38 名</td> </tr> <tr> <td>認定ウエディングスペシャリスト</td> <td>合格者 38 名</td> </tr> <tr> <td>マナー・プロトコール検定3級</td> <td>合格者 21 名</td> </tr> <tr> <td>Excel 表計算処理技能認定試験3級</td> <td>合格者 36 名</td> </tr> <tr> <td>Word 文書処理技能認定試験3級</td> <td>合格者 31 名</td> </tr> <tr> <td>文書読解・作成能力検定3級</td> <td>合格者 36 名</td> </tr> </table>				WB J 認定ウエディングプランナー	合格者 38 名	WB J 認定ドレスコーディネーター	合格者 38 名	WB 認定スリースターメンバー	合格者 38 名	フォーラムメイクアップPBコース修了証	合格者 38 名	ブライダルコーディネート技能検定3級	合格者 14 名	ホテル実務技能認定試験初級	合格者 32 名	サービス接客実務検定2級	合格者 38 名	認定ウエディングスペシャリスト	合格者 38 名	マナー・プロトコール検定3級	合格者 21 名	Excel 表計算処理技能認定試験3級	合格者 36 名	Word 文書処理技能認定試験3級	合格者 31 名	文書読解・作成能力検定3級	合格者 36 名
WB J 認定ウエディングプランナー	合格者 38 名																										
WB J 認定ドレスコーディネーター	合格者 38 名																										
WB 認定スリースターメンバー	合格者 38 名																										
フォーラムメイクアップPBコース修了証	合格者 38 名																										
ブライダルコーディネート技能検定3級	合格者 14 名																										
ホテル実務技能認定試験初級	合格者 32 名																										
サービス接客実務検定2級	合格者 38 名																										
認定ウエディングスペシャリスト	合格者 38 名																										
マナー・プロトコール検定3級	合格者 21 名																										
Excel 表計算処理技能認定試験3級	合格者 36 名																										
Word 文書処理技能認定試験3級	合格者 31 名																										
文書読解・作成能力検定3級	合格者 36 名																										
（令和6年度卒業生に関する情報）																											
（備考）（任意記載事項）																											

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
75人	9人	12%
（中途退学の主な理由） 意欲低下、精神不調、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別ガイダンスの実施や家庭との連携に加え、臨床心理士・公認心理師によるカウンセリング体制を整えている。また、別室にて授業を受けることができるメイトルームの利用も促進している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業		商業実務専門課程	公務員総合学科 (公務員学科)	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,710 単位時間/単位	745 単位時間 /単位	1,120 単位時間 /単位	40 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1,905 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		36人	0人	9人	0人	9人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 本校の「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」にそって、カリキュラム検討委員会の中で検討し、毎年1月から2月までに決定。各学科の教育課程編成委員会等でカリキュラムについて意見が出た場合は、次年度より変更できるように対応。全学科の教師が本校の共通フォーマットをもとにシラバスを作成し、年度開始時にHPで公開している。
成績評価の基準・方法
(概要) 前期・後期に実施する2回の期末試験、單元ごとに行う確認テスト、出欠席等で適切に評価を行っている。期末試験の評価については、S 90点以上、A 80点以上、B 70点以上、C 60点以上、D 59点以下とし、C以上が合格とする。 また、出欠席については、科目毎に80%以上の出席を必要とする。提出物、授業態度を成績評価につける場合は、主観的にならないよう一律の評価基準を設けて評価を行っている。
卒業・進級の認定基準
(概要) 学則に沿って、卒業に必要な授業時間 (授業単位) を策定し公表。 本校のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを募集要項、ホームページにて公開している。また、「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」および「学生の手引き」において「評価基準」、「期末試験受験資格」、「卒業条件」、「進級条件」等を公表。卒業・進級は、卒業認定委員会・進級認定委員会を経て決定され、適切に実施している。
学修支援等
(概要) 常勤教員によるクラス担任制を導入し、学生の学業および就職・キャリア形成を支援している。また、放課後の補講や検定対策授業を通じて、学習や資格取得に向けた支援を行っている。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業	商業実務専門課程	公務員速修学科	—	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	800 単位時間／単位	490 単位時間 ／単位	310 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
		800 単位時間／単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
15人	8人	0人	7人	0人	7人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）本校の「授業計画書（シラバス）と成績評価基準のガイドラインについて」にそって、カリキュラム検討委員会の中で検討し、毎年1月から2月までに決定。各学科の教育課程編成委員会等でカリキュラムについて意見が出た場合は、次年度より変更できるように対応。全学科の教師が本校の共通フォーマットをもとにシラバスを作成し、年度開始時にHPで公開している。
成績評価の基準・方法
（概要） 前期・後期に実施する2回の期末試験、單元ごとに行う確認テスト、出欠席等で適切に評価を行っている。期末試験の評価については、S 90点以上、A 80点以上、B 70点以上、C 60点以上、D 59点以下とし、C以上が合格とする。 また、出欠席については、科目毎に80%以上の出席を必要とする。提出物、授業態度を成績評価につける場合は、主観的にならないよう一律の評価基準を設けて評価を行っている。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学則に沿って、卒業に必要な授業時間（授業単位）を策定し公表。 本校のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを募集要項、ホームページにて公開している。また、「授業計画書（シラバス）と成績評価基準のガイドラインについて」および「学生の手引き」において「評価基準」、「期末試験受験資格」、「卒業条件」、「進級条件」等を公表。卒業・進級は、卒業認定委員会・進級認定委員会を経て決定され、適切に実施している。
学修支援等
（概要） 常勤教員によるクラス担任制を導入し、学生の学業および就職・キャリア形成を支援している。また、放課後の補講や検定対策授業を通じて、学習や資格取得に向けた支援を行っている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業		商業実務専門課程	医療福祉事務学科	○	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 1,702 単位時間／単位	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間		539 単位時間 /単位	1,456 単位時間 /単位	240 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
		単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		66人	0人	6人	2人	8人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）本校の「授業計画書（シラバス）と成績評価基準のガイドラインについて」にそって、カリキュラム検討委員会の中で検討し、毎年1月から2月までに決定。各学科の教育課程編成委員会等でカリキュラムについて意見が出た場合は、次年度より変更できるように対応。全学科の教師が本校の共通フォーマットをもとにシラバスを作成し、年度開始時にHPで公開している。
成績評価の基準・方法
（概要） 前期・後期に実施する2回の期末試験、單元ごとに行う確認テスト、出欠席等で適切に評価を行っている。期末試験の評価については、S 90点以上、A 80点以上、B 70点以上、C 60点以上、D 59点以下とし、C以上が合格とする。 また、出欠席については、科目毎に80%以上の出席を必要とする。提出物、授業態度を成績評価につける場合は、主観的にならないよう一律の評価基準を設けて評価を行っている。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学則に沿って、卒業に必要な授業時間（授業単位）を策定し公表。 本校のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを募集要項、ホームページにて公開している。また、「授業計画書（シラバス）と成績評価基準のガイドラインについて」および「学生の手引き」において「評価基準」、「期末試験受験資格」、「卒業条件」、「進級条件」等を公表。卒業・進級は、卒業認定委員会・進級認定委員会を経て決定され、適切に実施している。
学修支援等
（概要） 常勤教員によるクラス担任制を導入し、学生の学業および就職・キャリア形成を支援している。また、放課後の補講や検定対策授業を通じて、学習や資格取得に向けた支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）																									
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他																						
35人 (100%)	1人 (2.9%)	34人 (97.1%)	0人 (%)																						
（主な就職、業界等） 【業界】 医療業界 【就職先】 一般財団法人淳風会 淳風会健康管理センター、医療法人芥子会 城本クリニック、医療法人豊医会 原医院、医療法人 藤井ハートクリニック、医療法人 中川耳鼻咽喉科、株式会社アインホールディングス、医療法人東浩会 石川病院、医療法人水清会 水島第一病院																									
（就職指導内容） 担任教師とキャリアサポートのスタッフが連携し学生の進路選択のサポートを行う。併せて就職対策講座により教養・面接対策等を行う。																									
（主な学修成果（資格・検定等）） <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>Excel 表計算処理技能認定試験 3級</td> <td>合格者 35名</td> </tr> <tr> <td>Word 文書処理技能認定試験 3級</td> <td>合格者 35名</td> </tr> <tr> <td>デンタル・アテンダント・ベーシック</td> <td>合格者 13名</td> </tr> <tr> <td>医師事務作業補助技能認定試験</td> <td>合格者 33名</td> </tr> <tr> <td>医事オペレータ技能認定試験（医科）</td> <td>合格者 35名</td> </tr> <tr> <td>医療事務技能審査試験（医科）</td> <td>合格者 35名</td> </tr> <tr> <td>介護事務管理士技能認定試験</td> <td>合格者 27名</td> </tr> <tr> <td>実務技能検定協会秘書技能検定 2級</td> <td>合格者 5名</td> </tr> <tr> <td>実務技能検定協会秘書技能検定 3級</td> <td>合格者 21名</td> </tr> <tr> <td>診療報酬請求事務能力認定試験</td> <td>合格者 22名</td> </tr> <tr> <td>調剤事務管理士技能認定試験</td> <td>合格者 30名</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">（令和6年度卒業生に関する情報）</p>				Excel 表計算処理技能認定試験 3級	合格者 35名	Word 文書処理技能認定試験 3級	合格者 35名	デンタル・アテンダント・ベーシック	合格者 13名	医師事務作業補助技能認定試験	合格者 33名	医事オペレータ技能認定試験（医科）	合格者 35名	医療事務技能審査試験（医科）	合格者 35名	介護事務管理士技能認定試験	合格者 27名	実務技能検定協会秘書技能検定 2級	合格者 5名	実務技能検定協会秘書技能検定 3級	合格者 21名	診療報酬請求事務能力認定試験	合格者 22名	調剤事務管理士技能認定試験	合格者 30名
Excel 表計算処理技能認定試験 3級	合格者 35名																								
Word 文書処理技能認定試験 3級	合格者 35名																								
デンタル・アテンダント・ベーシック	合格者 13名																								
医師事務作業補助技能認定試験	合格者 33名																								
医事オペレータ技能認定試験（医科）	合格者 35名																								
医療事務技能審査試験（医科）	合格者 35名																								
介護事務管理士技能認定試験	合格者 27名																								
実務技能検定協会秘書技能検定 2級	合格者 5名																								
実務技能検定協会秘書技能検定 3級	合格者 21名																								
診療報酬請求事務能力認定試験	合格者 22名																								
調剤事務管理士技能認定試験	合格者 30名																								
（備考）（任意記載事項）																									

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
85人	6人	7.1%
（中途退学の主な理由） 体調不良、精神不調、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別ガイダンスの実施や家庭との連携に加え、臨床心理士・公認心理師によるカウンセリング体制を整えている。また、別室にて授業を受けることができるメイトルームの利用も促進している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業	商業実務専門課程	医療情報マネジメント学科 (医療情報管理士学科)	○	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2,515 単位時間/単位	660 単位時間/単位	1,980 単位時間/単位	70 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			2,710 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	32人	0人	3人	2人	5人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 本校の「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」にそって、カリキュラム検討委員会の中で検討し、毎年1月から2月までに決定。各学科の教育課程編成委員会等でカリキュラムについて意見が出た場合は、次年度より変更できるように対応。全学科の教師が本校の共通フォーマットをもとにシラバスを作成し、年度開始時にHPで公開している。
成績評価の基準・方法
(概要) 前期・後期に実施する2回の期末試験、單元ごとに行う確認テスト、出欠席等で適切に評価を行っている。期末試験の評価については、S 90点以上、A 80点以上、B 70点以上、C 60点以上、D 59点以下とし、C以上が合格とする。 また、出欠席については、科目毎に80%以上の出席を必要とする。提出物、授業態度を成績評価につける場合は、主観的にならないよう一律の評価基準を設けて評価を行っている。
卒業・進級の認定基準
(概要) 学則に沿って、卒業に必要な授業時間 (授業単位) を策定し公表。 本校のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを募集要項、ホームページにて公開している。また、「授業計画書 (シラバス) と成績評価基準のガイドラインについて」および「学生の手引き」において「評価基準」、「期末試験受験資格」、「卒業条件」、「進級条件」等を公表。卒業・進級は、卒業認定委員会・進級認定委員会を経て決定され、適切に実施している。
学修支援等
(概要) 常勤教員によるクラス担任制を導入し、学生の学業および就職・キャリア形成を支援している。また、放課後の補講や検定対策授業を通じて、学習や資格取得に向けた支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）																							
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他																				
18人 (100%)	0人 (%)	18人 (100%)	0人 (%)																				
（主な就職、業界等） 【業界】 医療業界 【就職先】 公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院、地方独立行政法人岡山市立岡山総合医療センター岡山市立市民病院、岡山済生会総合病院、公益財団法人操風会岡山旭東病院、国立大学法人東海国立大学病院機構名古屋大学医学部附属病院、独立行政法人国立病院機構中国四国グループ、他																							
（就職指導内容） 担任教師とキャリアサポートのスタッフが連携し学生の進路選択のサポートを行う。併せて就職対策講座により教養・面接対策等を行う。																							
（主な学修成果（資格・検定等）） <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">Access データベース技能認定試験 3級</td> <td style="width: 50%;">合格者 18名</td> </tr> <tr> <td>MOS Excel 2016 Expert</td> <td>合格者 8名</td> </tr> <tr> <td>MOS Excel 2016</td> <td>合格者 6名</td> </tr> <tr> <td>Word 文書処理技能認定試験 3級</td> <td>合格者 18名</td> </tr> <tr> <td>がん登録実務初級者認定試験</td> <td>合格者 18名</td> </tr> <tr> <td>医師事務作業補助技能認定試験</td> <td>合格者 18名</td> </tr> <tr> <td>医療事務技能審査試験（医科）</td> <td>合格者 18名</td> </tr> <tr> <td>医療情報基礎知識検定試験</td> <td>合格者 14名</td> </tr> <tr> <td>診療報酬請求事務能力認定試験</td> <td>合格者 11名</td> </tr> <tr> <td>診療情報管理士認定試験</td> <td>合格者 13名</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">（令和6年度卒業生に関する情報）</p>				Access データベース技能認定試験 3級	合格者 18名	MOS Excel 2016 Expert	合格者 8名	MOS Excel 2016	合格者 6名	Word 文書処理技能認定試験 3級	合格者 18名	がん登録実務初級者認定試験	合格者 18名	医師事務作業補助技能認定試験	合格者 18名	医療事務技能審査試験（医科）	合格者 18名	医療情報基礎知識検定試験	合格者 14名	診療報酬請求事務能力認定試験	合格者 11名	診療情報管理士認定試験	合格者 13名
Access データベース技能認定試験 3級	合格者 18名																						
MOS Excel 2016 Expert	合格者 8名																						
MOS Excel 2016	合格者 6名																						
Word 文書処理技能認定試験 3級	合格者 18名																						
がん登録実務初級者認定試験	合格者 18名																						
医師事務作業補助技能認定試験	合格者 18名																						
医療事務技能審査試験（医科）	合格者 18名																						
医療情報基礎知識検定試験	合格者 14名																						
診療報酬請求事務能力認定試験	合格者 11名																						
診療情報管理士認定試験	合格者 13名																						
（備考）（任意記載事項）																							

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
41人	2人	4.9%
（中途退学の主な理由） 精神不調、家庭の都合		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別ガイダンスの実施や家庭との連携に加え、臨床心理士・公認心理師によるカウンセリング体制を整えている。また、別室にて授業を受けることができるメイトルームの利用も促進している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
商業		教育・社会福祉 専門課程	保育学科	○	—	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
3年	昼間	2,605 単位時間/単位	1,100 単位時間 /単位	985 単位時間 /単位	850 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2,935 単位時間/単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
65人		22人	0人	6人	14人	20人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）本校の「授業計画書（シラバス）と成績評価基準のガイドラインについて」にそって、カリキュラム検討委員会の中で検討し、毎年1月から2月までに決定。各学科の教育課程編成委員会等でカリキュラムについて意見が出た場合は、次年度より変更できるように対応。全学科の教師が本校の共通フォーマットをもとにシラバスを作成し、年度開始時にHPで公開している。
成績評価の基準・方法
（概要） 前期・後期に実施する2回の期末試験、單元ごとに行う確認テスト、出欠席等で適切に評価を行っている。期末試験の評価については、S 90点以上、A 80点以上、B 70点以上、C 60点以上、D 59点以下とし、C以上が合格とする。 また、出欠席については、科目毎に80%以上の出席を必要とする。提出物、授業態度を成績評価につける場合は、主観的にならないよう一律の評価基準を設けて評価を行っている。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学則に沿って、卒業に必要な授業時間（授業単位）を策定し公表。 本校のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを募集要項、ホームページにて公開している。また、「授業計画書（シラバス）と成績評価基準のガイドラインについて」および「学生の手引き」において「評価基準」、「期末試験受験資格」、「卒業条件」、「進級条件」等を公表。卒業・進級は、卒業認定委員会・進級認定委員会を経て決定され、適切に実施している。
学修支援等
（概要） 常勤教員によるクラス担任制を導入し、学生の学業および就職・キャリア形成を支援している。また、放課後の補講や検定対策授業を通じて、学習や資格取得に向けた支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8人 (100%)	0人 (%)	6人 (75%)	2人 (25%)
（主な就職、業界等） 【業界】 保育園、幼稚園、福祉施設 【就職先】 社会福祉法人岡山愛育会 みのりの木保育園、社会福祉法人まあれ愛恵会、株式会社コスモス、社会福祉法人湯野福祉会 宮前こども園、社会福祉法人 古都の森、社会福祉法人子ども協会 いちょうの森こども園、			
（就職指導内容） 担任教師とキャリアサポートのスタッフが連携し学生の進路選択のサポートを行う。併せて就職対策講座により教養・面接対策等を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） EXCEL 表計算処理技能認定試験 3 級 合格者 6 名 社会人常識マナー検定 3 級 合格者 6 名 幼児体育指導者検定 2 級 合格者 8 名 保育士資格 合格者 5 名 幼稚園教諭 2 種免許状 合格者 4 名 社会福祉主事任用資格 合格者 7 名 （令和 6 年度卒業生に関する情報）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26 人	3 人	11.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別ガイダンスの実施や家庭との連携に加え、臨床心理士・公認心理師によるカウンセリング体制を整えている。また、別室にて授業を受けることができるメイトルームの利用も促進している。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
情報スペシャリスト学科	160,000 円	630,000 円	190,000 円	①その他の費目は施設整備費 ②教材費等含む補助活動費が別途必要
情報システム学科				
デジタルビジネス学科 (データマーケター学科)				
ネット・動画クリエイター学科				
ゲーム・VRクリエイター学科 ゲームクリエイターコース (ゲームクリエイター学科)				
ゲーム・VRクリエイター学科 VRクリエイターコース (ゲームプログラマー学科)				
CGデザイン学科 3DCGデザインコース				
CGデザイン学科 イラスト・デザインコース (CGデザイン学科)				
経営アシスト学科	160,000 円	610,000 円	160,000 円	
ホテル・ブライダル学科				
公務員総合学科 (公務員学科)				
公務員速修学科				
医療福祉事務学科				
医療情報マネジメント学科 (診療情報管理士学科)				
保育学科				
修学支援 (任意記載事項)				
後期授業料免除制度 等				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.oic-ok.ac.jp/assets/document/about/info/01--new.pdf
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 企業・業界団体等と密接かつ組織的な連携体制を確保し、学校運営に係る意見・提案等を行う学校関係者委員会 (以下「委員会」という) を岡山情報ビジネス学院内に設置している。なお、評価委員の構成において定数は12名 (外部委員のみ)、委員は本校と授業連携をしている企業や業界関連企業、本校の卒業生やPTAの方々に構成されている。年間で1回以上の会議を開催し、学校運営に関する事項 (自己点検自己評価、学生数状況、就職状況、離職状況等) について意見をいただいている。本校の自己点検自己評価を記入していただき、その評価結果をもとに教育活動、学校運営の改善に活用している。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社トスコ 代表取締役社長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	企業等委員（IT）
社会福祉法人岡北福祉会 岡北学園 理事長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	企業等委員（保育）
税理士法人 創明コンサルティング・ ブレイン 代表社員	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日	企業等委員（会計）
菅公学生服株式会社 取締役	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日	企業等委員（ビジネス）
医療法人 和香会 倉敷スイートホスピタル 事務局長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日	企業等委員（医療）
バイオシステム株式会社 岡山国際ホテル 総支配人	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日	企業等委員（ホテル）
株式会社 FIL DESIGN 代表取締役	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日	企業等委員（デザイン）
NAYUG 合同会社 代表社員	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日	企業等委員（ゲーム）
自衛隊香川地方協力本部 東讃地区隊長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日	企業等委員（公務員）
コーセーエンジニアリング株式会社 総務部 部長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日	企業等委員（留学生）
スマートスケープ株式会社 DE 事業部 製造ソリューション部 部長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日	卒業生
	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日	保護者
学校関係者評価結果の公表方法 （ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.oic-ok.ac.jp/assets/document/about/info/02--new.pdf		
第三者による学校評価（任意記載事項） https://www.oic-ok.ac.jp/assets/document/about/2019.pdf		

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.oic-ok.ac.jp/
--